

公益財団法人大阪陸上競技協会
第1期 事業報告
(2021年4月1日～2022年3月31日)

(総括)

当会は、令和3年4月1日付大阪府知事から公益認定を受け、認定法に定める義務履行や公益目的事業を的確に推進していくため、役員の法的な責務等について府の指導を踏まえて4月開催の理事会において資料を配布し周知、徹底を図った。

令和3年度の競技会に関する計画、管理運営に関しては、新型コロナウイルス感染症のまん延による非常事態宣言等が相次いで発出される中、競技会の延期、中止に係る影響が深く、そのため参加競技者への影響等を最小限とするため感染対策を講じつつ、可能な限り競技会への参加が確保できるよう個々の競技会毎にきめ細かな対策を講じ取り組んだ。しかしながらこれらの対策を実施したにもかかわらず、登録競技者及び参加者の減少に歯止めがかからなかった。また、予防対策の実施による費用増加等により主催競技会収支は大幅な費用超過となり経営に課題を残した。とりわけ、大阪マラソンにおいては、2月末時点の医療機関受け入れ態勢がひっ迫する状況を踏まえ開催2週間前に一般の部の中止を決定した結果、参加料の返金に起因する組織委員会の損失を主催3団体が均等負担することとなるなど本事案をめぐる今後の事業運営に課題を残すこととなった。

組織運営体制については、2023年2月のAIMS総会の大阪招致や大阪マラソン・木南記念陸上の国際化や広報活動の多様化を図るため、国際部、広報戦略部、映像配信部等の新設などの拡充を図ったほか、組織のコンプライアンス意識を高めるためコンプライアンス委員会を創設した。

また、本会の目的事業である陸上競技を通じてスポーツ文化の普及及び振興を図りもって府民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを具体化する事業として、新たに陸上教室(大阪アスレチックスアカデミア事業)事業を9月から試行実施した。小学生高学年を受講生として毎週木曜日の夜間に教室をヤンマーフィールド長居において開催した。2022年4月からの本格実施に向けた検討、準備を進めた。

本会は2022年度に創立100周年を迎えるため、準備委員会を設置し記念式典等の準備を進めてきた。記念式典、記念史編纂、記念表彰、講演会、陸上クリニック、新ロゴマークの作成、AIMS世界総会の誘致などの記念事業を実施することとした。

以下、令和3年度における公益目的事業及び法人の管理運営について報告する。

1.陸上競技に関する諸計画の実施及びその技術指導等に関する事業

当協会は、2021年度に実施する競技会に関して、世界選手権、日本選手権、国民体育大会等の上位競技会の開催状況を踏まえつつ、当会主催競技会、協力団体競技会など府内の全ての競技会の年間計画(スケジュール)を関係団体、競技場施設と調整を図り策定した。最新の国際陸連、日本陸連の競技規則の周知に関しては、4月当初に全審判員に対して「2021年度競技規則修改制」に係る講習会を実施しその周知を図った。今期は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から一同に集まった講習会は中止し、修改制の内容についての質問への回答を持って審判講習会受講済とする方法を採用した。

2021年度に大阪府内で行われた全ての主催・主管・共催・協力する競技会に審判員を派遣し技術指導を行った。

4月25日に「緊急事態宣言」が発出され、「大阪陸上競技カーニバル」及び「日本GP木南道孝記念陸上競技大会」は延期し、実施することとなった。5月31日に「緊急事態宣言」が解除され6月以降はほぼ延期した競技会を含め予定通りに開催できた。

年明けから新たな変異株による「まん延防止等重点措置」が出され、「大阪マラソン」は医療機関の患者受入がひっ迫している状況も踏まえ、当会会長、知事、市長のトップ協議によって急遽一般ランナーの部の中止など開催内容を変更し実施した。

2. 陸上競技会の主催、運営等に関する事業

(1) 国内競技会

①第105回日本陸上競技選手権大会・第37回U20日本陸上競技選手権大会

6月24日～27日にヤンマースタジアム長居において、「東京2020オリンピック競技大会日本代表選手選考会」を兼ねて実施した。2種目で日本新記録が誕生し、大会新記録も4種目で7つ出るなど、最終予選にふさわしい大会となった。

②第89回大阪陸上競技選手権大会

7月16日～18日にヤンマースタジアム長居及びヤンマーフィールド長居で実施した。新型コロナウイルス感染症のために昨年度に続き大阪登録者のみの参加とした。

③2021年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会

9月20日にヤンマーフィールド長居で実施した。今年は大阪実業団対抗陸上競技大会の中止に伴い、関西学連対象の第4回審判講習会を兼ねて実施した。他の競技会と重なり競技役員の不足が目立ったが、審判講習会を兼ねていたため何とか乗り切れた。

④2022大阪ハーフマラソン

1月30日に大阪城公園スタート～ヤンマースタジアム長居フィニッシュの日本陸連公認、WA認証コースで実施した。昨年に続き関西学生ハーフマラソン選手権大会を併催して実施した。新型コロナウイルス感染症による「まん延防止等重点措置」が出されていたが、日本陸上競技連盟が定めた「ロードレース再開についてのガイダンス」に基づき感染拡大防止対策を徹底して臨んだ。競技レベルが上がり男子は多数の大会新記録が出た。女子の日本陸連登録の部8位までの入賞者は次年度の大阪国際女子マラソンの準招待選手に選ばれた。

⑤第105回日本陸上競技選手権大会・室内競技

日本陸上競技選手権大会・室内競技となって2年目のこの大会は、3月12日、13日に大阪城ホールで開催した。走幅跳・三段跳助走路の改良による最初の競技会で選手には好評であった。また、昨年は新型コロナウイルス感染症により無観客で実施したが、フィジカルディスタンスを確保して有観客で実施した。

⑥その他記録会等

4月25日開催予定だった大阪陸上競技カーニバルは新型コロナウイルス感染症による「緊急事態宣言」発令のため7月31日に延期したが、当日「暴風警報」が出たため途中中止とした。

大阪陸上競技記録会は4月4日に第1回、4月10日、11日に第2回を実施したが、11日のヤンマースタジアムが急遽使えなくなったため100mのみ7月31日にヤンマーフィールド長居で代替競技会を実施した。

大阪陸上競技記録会中学の部は4月24日から6月12日・13日まで計4回実施した。

長距離記録会は10月16日にヤンマーフィールド長居で第1回、11月27日にヤンマースタジアム長居で第2回を実施した。第2回では都道府県対抗駅伝選考記録会も兼ねて実施した。

(2) 国際競技会

①日本GP第8回木南道孝記念陸上競技大会

5月5日に開催予定だったが「緊急事態宣言」発令のため6月1日にGP種目のみで実施した。

今年もWAコンチネンタルツアー・ブロンズ大会として実施した。また今年から関西テレビアナウンサーを交えてYouTubeによるライブ配信を実施した。当初外国選手を招聘する予定で

あったが新型コロナウイルス感染症による入国制限がなされており、残念ながら日本人選手のみで実施するに至った。

②第41回大阪国際女子マラソン

1月30日にヤンマースタジアム長居発着の日本陸連公認、WA/AIMS認証コースで実施した。新型コロナウイルス感染症による「まん延防止等重点措置」が発令中であったが、全選手と関係者に抗原検査を実施し2年ぶりに公道での開催となった。また、外国人選手を招へいできなかったため昨年同様男子のペースメーカーを導入した。結果4名の世界選手権派遣設定記録突破者と6名のMGC出場権獲得者を出した。

③第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会

2022年2月27日に開催した。今回はフィニッシュ地点を変更したためコースを一部変更して実施した。そして「びわ湖毎日マラソン統合大会」としてエリートランナーを加えた名実共に世界水準の都市型市民マラソンとしてスタートすることとなった。しかし、新型コロナウイルス感染症による「まん延防止等重点措置」発令中のため、開催直前に急遽エリートランナーのみの大会となった。エリートランナーの対応など準備段階から様々な配慮をして臨んだので大きな混乱もなく終了できたが一般ランナーを加えた場合の対応など細かな所で来年に向けての課題も残った。

(3) 府民・市民向け陸上イベント

①長居スプリントチャレンジ

府民、市民の皆さんの中で、本格的な陸上競技場で走ったことのないが走ってみたいと希望される方々に、気軽にヤンマースタジアム長居で走っていただくことができるよう「長居スプリントチャレンジ」を実施した。子どもたちやその家族、日本陸連に登録していない中高生約700人が参加した。北海道から参加した方もあった。準備運動、スタートブロックの装着指導、スタートテストについて、当会の指導者が丁寧に指導、援助した。また、写真判定装置による公式計時、その結果を表示した大型スクリーン前での写真撮影を実施し、好評であった。

3. 陸上競技会に対する役員及び競技者の派遣に関する事業

国民体育大会、全国都道府県対抗男子駅伝、同女子駅伝、その他2021年度各競技会について

(1) 主な競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 第76回国民体育大会（三重とこわか国体）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

② 皇后盃 第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

安田監督以下、コーチ5名・トレーナー1名・当日支援コーチ2名、選手13名（うち補欠4名）を派遣。総合第6位。大阪薫英女学院高校の選手（4名とも区間2～4位）が上位入賞に大きく貢献した。

③ 天皇盃 第27回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年連続中止となった。

(2) その他の競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会（7月28日～8月1日：福井県・9.98スタジアム）

船津総監督（高体連強化部長）、村上男子監督（大阪高校）、中尾女子監督（摂津高校）、選手90名（男子39名・女子51名）を派遣。女子走幅跳（吉田・摂津高校）で優勝。男子110mH（小池・大塚高校）では近畿高校記録で第2位。無観客試合で、会場内AD規制のある大会となった。

- ② 第48回全日本中学校陸上競技選手権大会（8月18日～20日：茨城県・笠松運動公園陸上競技場）
田中監督（中体連強化部長）以下、強化部員、選手64名（男子34名・女子30名）を派遣。女子4x100mリレー（咲くやこの花中学校）と女子砲丸投（山口・墨江丘中学校）で優勝した。
大会前日急に茨城県入りするにはPCR検査の陰性証明が必要となり現場は大混乱した。
- ③ “日清食品カップ”第37回全国小学生陸上競技交流大会
選手8名（男子4名・女子4名）が出場し、6年男子コンバインドB（花光・大教SC）で準優勝した。
- ④ 第15回U18／第52回U16陸上競技大会（10月22日～24日：愛媛県・ニンジニアスタジアム）
U18陸上競技大会で大阪選手の8位内入賞者は、男子5名、女子9名であった。低調であった理由としてはフィールド2回試技の特別ルールに対応できる選手が少なかった。
U16陸上競技大会には、選手38名（男子18名・女子20名）が出場し、男子走幅跳（植村・大体大浪商高校）と女子150m（島田・咲くやこの花中学校）、女子砲丸投（坂・富田林第二中学校）で優勝した。
今大会は事前にPCR検査の陰性証明が必要と分かっていたので、大阪陸協強化委員会が一人2,000円で斡旋した。しかし、会場でその陰性証明を確認されることはなかった。

4 陸上競技指導者等の表彰に関する事業

公認審判員、競技者、指導者等の表彰

① 公認審判員、指導者等の表彰

功労賞は、審判員等として献身的に大阪の陸上競技のために貢献してきた方に授与するものであり、本年度は9名の方に授与した。

優秀指導者賞は、ジュニア競技者の育成に顕著な業績を上げた優秀な指導者に授与するものであり、本年度は中学生の指導者2名、高校生の指導者2名を表彰した。

② 競技者の表彰

勲功章は、全国大会等の優勝者、大阪新記録の樹立者に授与するもので、今年度は40名の競技者に授与した。

③ その他の表彰

世界記録・アジア記録樹立時の競技者・指導者表彰に関する該当者はなかった。

④ 激励金の交付

東京オリンピックの代表となった萩谷、藤井、寺田、小池、多田、青山の6選手に当会規定に基づき激励金を授与した。

また、多田修平氏、小池祐貴氏、女子マラソンの補欠となった松田瑞生氏には、OSAKA夢プログラム事業からのオリンピック代表選考となったことを記念し特別激励金を授与した。

5. 陸上競技選手等の育成・指導に関する事業

(1) 強化事業（競技者の育成）

① 女子長距離夏季強化合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、その中心となる高校生候補選手9名を集め、御岳高原高地トレーニングエリアで8日間（7月10日～17日）の強化合宿を実施した。

- ② 男子長距離夏季強化合宿
全国都道府県対抗男子駅伝競走大会での上位入賞を目指し、大阪中学校体育連盟陸上競技専門部と連携し、中学生男子35名が参加し御岳高原高地トレーニングエリアで3日間（7月27日～29日）の強化合宿を実施した。
- ③ 小学生中学生合同練習会
大阪中学校体育連盟陸上競技専門部と大阪小学生陸上運動研究協議会と連携し、小中学生合同での第1回練習会を7月26日、万博記念競技場で実施。小学生34名、中学生118名が参加した。
第2回を2月19日に服部緑地陸上競技場で実施する予定（小学生49名、中学生131名の申込）だったが、雨天中止となった。
- ④ 国体強化合宿
第76回国民体育大会中止に伴い、その強化合宿も中止とした。
- ⑤ 国体強化練習会
第76回国民体育大会中止に伴い、その強化練習会も中止とした。
- ⑥ 強化選手＜中学生・高校生＞練習会
2022年度全国大会で上位入賞を狙える強化選手Aランク34名（中学生9名・高校生25名）と下位入賞を狙える強化選手Bランク70名（中学生26名・高校生44名）を选考し、強化練習会を2回（11月23日、2月20日）ヤンマーフィールド長居で実施した。
- ⑦ 高体連強化育成練習会
2022年大阪高体連強化標準記録突破選手と高体連強化コーチ推薦選手が参加して、12月25日～27日ヤンマーフィールド長居・金岡公園陸上競技場等を利用して実施。男子128名、女子113名が参加した。参加者の体調管理チェックシート記入確認とアルコール消毒等を徹底させて感染症対策を行った。新型コロナウイルスの感染はなかったが、体調不良等で欠席する選手が例年よりも多かった。
- ⑧ 冬季大阪ジュニア陸上強化合宿
大阪中学校体育連盟陸上競技長距離強化選手2名・強化部推薦選手49名を集め、紀三井寺陸上競技場およびその周辺で3日間（12月27日～29日）の強化合宿を実施した。
- ⑨ 男子駅伝チーム合同練習会
全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で過去最高順位の更新を目指し、選手11名（中学生5名、高校生6名）で長居公園周回コース（12月11日・12月18日・12月28日・12月29日）と金岡公園陸上技場（1月5日・1月7日・1月15日）を使用して合同練習会を実施した。
- ⑩ 女子駅伝チーム年末合宿
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、選手8名（中学生3名、高校生5名）と来年度に向けての育成選手3名を集め、駅伝コースおよびその周辺で2日間（12月29日～30日）の強化合宿を実施した。
- ⑪ 女子駅伝チーム試走合宿
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、選手8名（中学生3名、高校生5名）と来年度に向けての育成選手3名を集め、実際の駅伝コース試走を中心に3日間（1月4日～6日）の調整合宿を実施した。
- ⑫ 男子駅伝チーム試走
全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で過去最高順位の更新を目指し、選手11名（中学生5名、高校生6名）で実際の駅伝コース試走を中心に日帰り（1月4日）で試走練習会を実

施した。

⑬ 冬季強化合宿

2022年度全国大会で上位入賞を狙える強化選手Aランクの中から29名（男子12名・女子19名）を選考し、鹿児島県のジャパンアスリートトレーニングセンター大隅で4日間（1月4日～7日）の強化合宿を実施。昨年度までの沖縄県かいぎんフィールド国頭から場所を変更したが、屋内暖房完備で天候の心配がなく、計画通りのトレーニングを行えた。

⑭ 中体連強化選手練習会

大阪中学校体育連盟陸上競技強化選手34名・強化部推薦選手57名を集め、強化練習会を4回（1月23日万博記念競技場、2月12日ヤンマースタジアム長居、3月6日金岡公園陸上競技場、3月19日万博記念競技場）実施した。

⑮ 春季大阪ジュニア陸上強化合宿

大阪中学校体育連盟陸上競技強化選手31名・強化部推薦選手55名を集め、紀三井寺陸上競技場およびその周辺で3日間（3月27日～29日）の強化合宿を実施した。

(2) 指導者の育成

有資格者（日本スポーツ協会および日本陸上競技連盟公認スポーツ指導者）の育成

① JAAF公認コーチ<JSPO公認陸上競技コーチ3>

日本スポーツ協会・日本陸上競技連盟主催の「JSPO公認陸上競技コーチ3養成講習会」に受講者を推薦した。

② JAAF公認ジュニアコーチ<JSPO公認陸上競技コーチ1>

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、今年度は2年ぶりに（2015年度から6回目）「JSPO公認陸上競技コーチ1養成講習会」大阪会場を開催し、35名が受講した。

コロナ禍であるため、これまでの集合3日間講習ではなく、オンライン講習2日・集合講習2日となった。まだコロナ禍でもあり受講生が少なかったが、これで大阪府のJSPO公認陸上競技コーチ（1～4）有資格者は173名となった。

③ 日本陸上競技連盟委嘱 エducーター<コーチ育成者>

2022年度以降も「JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会」大阪会場を開催し、また2022年度から始まる「JAAF公認スタートコーチ養成講習会」も大阪会場を開催するために、その統括者を日本陸上競技連盟主催「エデュケーター養成講習会」に派遣した。

④ 冬季大阪ジュニア陸上競技指導者研修合宿

大阪中学校体育連盟各地区陸上競技専門部委員会から推薦を受けた陸上競技部顧問に3日間（12月28日～30日紀三井寺陸上競技場）参加してもらい、陸上競技（2022年度は短距離走中心）を通じた身体リテラシーの育成方法や実践的指導理論に基づく中学生に最適なトレーニング方法を習得してもらった。

⑤ 近畿ブロック研修合宿への指導者派遣

中学生の陸上競技に携わる選手及び指導者が競技に対する知識と理解を深めながら種目に応じた技術指導の中、一層の競技力向上に寄与するとともに集団生活を通じて基本的な生活習慣の確立と選手相互の友情を培うことを目的として3日間（1月8日～10日紀三井寺陸上競技場）の研修合宿を実施した。

2019年度までは上記目的で日本陸上競技連盟主催（日本陸連から予算240万円）合宿だったが2020年度から中止した。しかし、この近畿ブロックが一つになっての合宿は選手にとっても指導者にとっても大変意義あるものであったため、近畿陸上競技協会に主催をお願いし、6府県から各20万円ずつを出し合って継続していくことを決めた。

⑥ 有資格指導者への情報発信、資格更新研修会

資格有効期限間近の指導者に連絡、更新研修会を紹介するとともに、上記⑤を資格更新研修会として、有資格者に受講を勧めた。

⑦ 中学生・高校生の指導者対象の各種目別実技指導講習会

大阪中学校体育連盟陸上競技専門部、大阪高等学校体育連盟陸上競技部、また各市陸上競技協会等と連携し、年数回の種目別実技指導講習会を開催した。

(3)大阪アスレチックスアカデミア事業

令和3年9月から試行的に事業を開始した。小学生高学年を対象に1クラス編成とし、カリキュラムは、運動の苦手な子どもたちも参加できる内容とした。受講生の心身の健全な育成と成長を丹念に支援していくとの事業目標のもとに、子供たちが楽しく運動に触れあえるものとし、走、投、跳の基礎動作について用具を使って楽しく学習、体験できるものとした。中学生の育成指導に関して実績のある当会の理事に加えオリンピック、国際陸連公認コーチ、日本スポーツ協会公認指導員、看護師をコーチ、支援員に配置した。保護者に対しても、運動の基礎理論や小学生期の発達段階における育成の方法、栄養取得などに関する講義を行い、身近な家庭からも成長を見守れるよう支援を行った。

また、大阪市の後援を受け、同市の広報の支援をいただくなど事業の幅広い広報活動を行った。

〈試行事業受講者実績〉

学年	人数	備考
小学4年生	12人	
小学5年生	17人	
小学6年生	13人	
その他	15人	低学年児童等
計	57人	

(4)第1期OSAKA夢プログラム事業(最終年度)と成果

・第1期事業の総括

本事業は、地元大阪から2020東京オリンピック競技大会に代表選手を送り、スポーツを通じた地域の活性化につなげたいとの決意のもとに地元経済界の多大なるご支援をいただき平成27年9月からスタートしたものである。令和3年6月にヤンマースタジアム長居で開催した『第105回日本陸上競技選手権大会(東京オリンピック代表最終選考会)』において、男子100mで多田修平選手、同200mで小池祐貴選手が優勝し、個人種目とリレーで念願のオリンピック出場が決定した。指定競技者全員のオリンピック出場は叶わなかったが、延期されなければ出場できていた女子やり投の佐藤友佳選手や史上最強の女子マラソン補欠選手と言われた松田瑞生選手をはじめ、本事業での支援を踏まえ、どの指定競技者も今後の活躍が期待される。

11月12日に大阪中央公会堂において、東京オリンピック競技大会を終えたことを踏まえ、事業開始以来6年間に渡る本事業の総括並びに指定競技者からの協賛社、寄付(社)者、支援者の皆様に対して感謝の意を表するため報告会を実施した。多くの報道機関の取材を受けるとともに競技者と参加者との記念撮影を行った。

・第2期事業の推進、指定競技者の選定

第1期の成果(代表選出2名、海外指導者との連携、海外遠征ノウハウの習得等)を踏まえて、第1期事業からの継続指定競技者5名に新たに2020東京オリンピック出場選手等12名を加え第2期OSAKA夢プログラム事業の指定競技者を決定した。第2期事業については大阪登録選手だけでなく、大阪ふるさと登録選手も指定競技者に選考し、パリオリンピックでのメダル獲得、入賞を目指すこととした。令和4年4月以降に事業を開始することとしている。

(5)障がい者競技者指導、競技会への役員派遣

大阪市・大阪府障がい者スポーツ大会の審判員を派遣し運営にあたりるとともに、全国障がい者スポーツ大会の大阪府選手団の選考や大会役員を派遣した。また、大阪府選手団の練習会の指導を行った。さらに、全国視覚障がい者駅伝大会へ審判員を派遣した。

大阪市障害者福祉スポーツ協会の委託を受け、障がい者対象の陸上教室（ラン run ラン）に指導者を派遣し楽しく陸上競技、スポーツを楽しめるよう指導した。今年度は、大阪アスレチックスアカデミア事業とも連携して一緒に練習を行う取り組みも実施した。

6.その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 競技者・公認審判員登録管理等

登録競技者数(過去3年推移)

年度	登録競技者数	増減
2019	29,695	—
2020	27,199	△2,496
2021	25,682	△1,517

登録競技者数は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による非常事態宣言等の発令により競技会の中止や延期、マラソン大会の中止・市民ランナーの部の中止等の影響を受け、大きく減少している。

公認審判員登録数(期末登録者数)

年度	大阪陸協公認審判員登録者数	増減
2019	1,510人	—
2020	1,406人	△104人
2021	1,326人	△80

大阪における公認審判員の登録者数は、減少しつつあり、登録者の高齢化も進んでいる。若年審判員の育成などが課題となっている。

(2)大阪陸上競技年鑑の発刊、広報事業の推進

令和3年度大阪陸上競技年鑑を編纂し、記録、競技会情報等のコンテンツを載せ、ホームページ上で府・市民の皆様が誰でも閲覧できるようにした。

当会の発信力を高めていくため、ホームページの拡充を図ることとし見やすい画面、コンテンツを乗せやすい運用ができるよう改修を行い3月に公開した。また、スマートフォンで簡単にみられるように改良を行った。

木南記念陸上において、YouTube中継配信を行い関西テレビのアナウンサー、各種目の専門家を招請し、解説を加えた実況中継を行った。

大阪マラソンにおいては、びわ湖毎日マラソンとの統合により、日本放送協会、民間放送局中継放送が中継を予定していたが、一般の部の中止を受け、エリート部門のNHKによる全国中継を実施した。また、日常的な競技会情報の提供を行って発信の拡大に努めた。

OSAKA夢プログラム事業に関しては、季刊誌「さくら咲く」を発刊するとともに、事業報告会を大阪市中心公会堂で実施した。

大阪アスレチックスアカデミア事業の広報を推進するため、大阪市の後援を獲得するとともに、市を通じた広報も行っていただき、全小学生向けに配布されるリーフレットにも掲載いただくなど広く市域の小学生や保護者への周知を進めた。

(3)公認審判員の育成等

2021年度審判講習会、新規公認審判員認定講習を下表の日程で実施した。本講習会において、

国際陸連・日本陸連競技規則の修正周知を図った。

回	期日	大会名	場所	参加者
第1回	2021.4.11	第2回記録会	ヤンマースタジアム長居	27
第2回	2021.5.2	大阪マスターズ陸上大会	ヤンマーフィールド長居	延期
第3回	2021.6.12	第4回記録会(中学生)	万博記念公園陸上競技場	29
第4回	2021.6.20	大阪実業団陸上	ヤンマーフィールド長居	延期
第2回	2021.8.4	第1回学連競技会	ヤンマーフィールド長居	108
第4回	2021.9.20	クラブ対抗兼シニア選手権	ヤンマーフィールド長居	183

AED操作講習会を下表のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止した。

会場	期日	回数	場所	参加者
第2回記録会	2021.4.11	3回	ヤンマースタジアム長居	—

(4) 創立100周年記念事業準備

2022年度に創立100周年を迎えるため設立準備委員会を組織し記念史編纂、記念式典、記念表彰、講演会、クリニック、新ロゴマークの制定など12種類の事業を企画し、その内容等に関して専務理事を中心に検討した。準備委員会は2月に1回程度の頻度で開催した。また、別に記念史編集委員会を組織し史実、特筆する競技者等の人物、国際競技会等の記録、写真、動画を収集し委員が分担して執筆を進めた。発刊は、令和4年度後半を予定し、デジタル方式により頒布することとしている。

(5) その他

評議員会などの機関会議等の開催状況、重要な検討結果について、以下の通り報告する。

1) 評議員会の開催状況、審議内容は、次のとおりである。

・令和3年度 定時評議員会

発信日；令和3年5月28日、同意日；令和3年6月11日

定款第24条(決議の省略(提案議案について、評議員の全員が書面又は電磁的記録による同意の意思表示を示したときは、当該提案を可決する旨の評議員会の議決があったものとみなす。))を適用し開催した。

1. 報告事項

報告1 2020年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書等、監査報告の通知の件

当会の2020年度事業報告、計算書類及び監査報告については、その内容の通知を受けたので評議員会に報告することを要しないこと

報告2 各種競技会に関する報告について

議案兼議案説明資料に記載のとおり、報告を受けたこと

2. 決議事項

第1号議案 2020年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、付属諸表の承認について(2020年度監査報告について)

当会の2020年度期の上記計算書類等を承認すること

第2号議案 理事の選任について

任期満了に伴う次期理事について、令和3年3月24日開催の臨時評議員会において選任決議(内定)した理事38名及び学識経験者理事候補2名を加えた計40名を理事として選任することを決議すること

2) 理事会の開催状況、審議案件については、次のとおりである。

・令和3年度 第1回臨時理事会

令和3年4月7日(水)18時30分～、場所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

競技会報告、第1回大阪陸上競技記録会(万博)(長居)
事務局報告

II 連絡・協議事項

1. 2021-2022年度新理事の紹介
2. 2021-2022年度大阪陸協役員・機構について
3. 公益認定を踏まえた対応について
 - ・公益法人の各機関の役割と責任について
 - ・公益認定による規則、要綱等に係る法人名称変更について
 - ・今後の理事選任スケジュールについて
4. 第8回木南道孝記念陸上競技大会について
5. 第105回日本陸上競技選手権大会について
6. 第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会(仮称)について

・令和3年度 第1回定時理事会議事

令和3年5月25日(火)17:30～、WEB会議

I 報告事項

1. 2021日本室内陸上競技大阪大会について
2. 2021年度審判講習会について
3. 新たに委嘱した外部委員の略歴
4. 事務局報告

II 連絡・協議事項

議案1 WAコンチネンタルツアー・サトウ食品日本GPシリーズ大阪大会
第8回木南道孝記念陸上競技大会について

議案2 第105回日本陸上競技選手権大会について

議案3 第88回大阪陸上競技選手権大会について

議案4 第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会(仮称)について

議案5 陸連関係マラソンシリーズについて

議案6 定時評議員会について

議案7 大阪陸協創立100周年記念事業について

議案8 令和2年度決算概要について

議案9 OSAKA夢プログラムについて

議案10 各委員会報告

総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、パラ競技

・令和3年度 第2回臨時理事会

令和3年6月15日(火)定款第44条による開催

報告事項1

評議員会における理事の選任決議について

第1号議案

今任期中の理事会議長の選出について

第2号議案

代表理事(会長、専務理事)、副会長、業務執行理事の選任、その他理事の事務分掌に関する件

II 連絡・協議事項

1. 第105回日本陸上競技選手権大会について
2. 第89回大阪陸上競技選手権大会について

・令和3年度 第2回定時理事会議

令和3年8月19日(木) 17:30～、WEB会議

I 報告事項

第89回大阪陸上競技選手権大会について

大阪陸協第2回記録会(100mのみ)について

東京2020オリンピック(OSAKA夢プログラム事業)について

事務局報告

II 連絡・協議事項

議案1.ミドルディスタンスチャレンジについて

議案2.第89回近畿陸上競技選手権大会について

議案3.2021年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会兼
第12回シニア陸上競技選手権大会について

議案4.長距離ナイター記録会大阪ロードレースについて

議案5.第69回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会について

議案6.第74回国民体育大会大阪府代表選手選考について

議案7.長距離第1回記録会について

議案8.大阪陸協創立100周年記念事業について

新ロゴマーク公募、英語表記の変更、ロゴマーク審査委員会委員の選任について

議案9.大阪陸協中期5カ年計画の取り組みについて(各担当から報告)

議案10.委員会報告

総務企画委員会、競技委員会、パラ競技、強化委員会、広報委員会、
財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アカデミア

・令和3年度 第3回理事会議案

令和3年10月14日(木) 18:30～、場所:ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

競技会報告

第74回全国高校陸上競技対校選手権大会

第70回近畿中学校総合体育大会

第48回全日本中学校陸上技選手権大会

MIDDLE DISTANCE CIRCUIT in OSAKA

2021年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会兼

第12回シニア陸上競技選手権大会

長距離ナイター記録会

第69回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会について

近畿陸協常務理事会(役員総会中止)について

広報委員会の当面の取り組み状況について

事務局報告

II 連絡・協議事項

- 議案1 JUMP FESTIVAL in OSAKA 2021について
- 議案2 NAGAI Sprint Challenge 2021について
- 議案3 OSAKA EKIDEN IN長居兼
第24回全国視覚障がい者駅伝大会について
- 議案4 第41回大阪国際女子マラソン・2022ハーフマラソンについて
- 議案5 第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会について
- 議案6 大阪陸協創立100周年記念事業について
- 議案7 室内ボード改修契約、写真判定装置更新契約の締結について
- 議案8 大阪陸協中期5カ年計画の取り組み報告（各担当から報告）
- 議案9 大阪マラソンを開催する組織の法人化について
- 議案10 各委員会報告

総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、
経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア

- ・令和3年度 第4回定時理事会議事録

開催日時;令和3年12月7日（火）、場所:ヤンマースタジアム長居大会運営室

I 報告事項

競技会報告

- ・大阪陸協長距離第1回長距離記録会
- ・JUMP FESTIVAL in OSAKA 2021
- ・NAGAI Sprint Challenge 2021
- ・OSAKA EKIDEN in 長居兼第24回全国視覚障がい者駅伝大会
- ・第6回小学生陸上記録会・兼大阪小学生陸上競技会
- ・第72回大阪中学校駅伝兼第43回大阪中学校女子駅伝競走大会
- ・第42回男子・第35回女子近畿中学校駅伝競走大会
- ・第72回全国高校駅伝兼第33回全国高校女子駅伝大阪府予選会
- ・第72回近畿高校駅伝・第37回近畿高校女子駅伝競走大会
- ・大阪陸協長距離第2回記録会・都道府県駅伝選考記録会
- ・大阪ロードレース

事務局報告

II 連絡・協議事項

- 議案1 第41回大阪国際女子マラソン・2022ハーフマラソンについて
- 議案2 第13回おおさか子どもEKIDENについて
- 議案3 第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会について
- 議案4 第105回日本陸上競技選手権
・室内競技2022日本室内陸上競技大阪大会について
- 議案2 大阪マラソンを開催する組織の法人化について
- 議案3 AIMS世界総会の開催に向けた進捗状況について
- 議案4 OSAKA夢プログラム第II期の取組みについて、
- 議案5 大阪アスレチックスアカデミアのパイロット事業について
- 議案6 全国規模の競歩大会の開催について
- 議案7 第9回木南記念陸上競技大会について
- 議案8 第106回日本陸上競技選手権大会について
- 議案9 今年度の日本陸上競技連盟栄章・秩父宮章の推薦候補者について

- 議案 1 0 令和 3 年度 9 月末現在の貸借対照表、正味財産増減計算書について
- 議案 1 1 決裁文書規程の改正について
- 議案 1 2 アカデミア事業規約について
- 議案 1 3 天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会の応援団派遣について
- 議案 1 4 各委員会の報告、提案を了承した。

競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、
創立 1 0 0 周年準備委員会

- 議案 1 5 主要競技会の担当理事について

・令和 3 年度第 5 回理事会

開催日時；令和 4 年 2 月 2 2 日（火）、場所：ヤンマースタジアム長居大会運営室
議事進行に関する動議 本日以降の理事会の効率的な運用、ペーパーレスの徹底について

1. 報告事項

- 市長杯第 7 4 回大阪市民駅伝競走大会について
- 皇后盃第 4 0 回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会について
- 近畿陸協常務理事会総会、常務理事会について
- 第 4 1 回大阪国際女子マラソン・2 0 2 2 ハーフマラソン
事務局報告

2. 連絡・協議事項

- 議案 1 第 1 0 回大阪マラソン・第 7 7 回びわ湖毎日マラソン統合大会について
- 議案 2 第 1 0 5 回日本陸上競技選手権大会
・室内競技 2 0 2 2 日本室内陸上競技大阪大会について
- 議案 3 第 9 回木南記念陸上競技大会について
- 議案 4 A I M S 世界総会について
- 議案 5 大阪マラソンを開催する組織の法人化について
- 議案 6 O S A K A 夢プログラム第 II 期について
- 議案 7 令和 4 年度競技会日程について
- 議案 8 2 0 2 2 年度大規模大会の分担について
- 議案 9 2 0 2 2 年度の競技会の理事分担について
- 議案 1 0 第 1 0 6 回・第 3 8 回 U 1 8 日本陸上競技選手権大会について
- 議案 1 1 2 0 2 3 年度事業計画案の作成について
- 議案 1 2 審判講習会の開催案等、S 級審判員の昇格について
大阪アスレチックアカデミア事業について

・令和 3 年度 第 6 回理事会議案

令和 4 年 3 月 2 4 日（木）、場所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

- 第 1 0 回大阪マラソン・第 7 7 回びわ湖毎日マラソン統合大会について
- 第 1 0 5 回日本陸上競技選手権大会・室内競技
2 0 2 2 日本室内陸上競技大阪大会について
- 近畿陸協常務理事会について

II 連絡事項

1. 2 0 2 2 年 G P 第 9 回木南記念陸上競技大会について
2. 第 1 0 6 回・第 3 8 回 U 2 0 日本陸上競技選手権大会について

II 協議事項

- 議案 1 大阪マラソンを開催する組織の法人化について
- 議案 2 O S A K A 夢プログラム第Ⅱ期の取組みについて
- 議案 3 2023年2月AIMS世界総会について
- 議案 4 大阪アスレックスアカデミア事業について
- 議案 5 2021年度補正予算案について
- 議案 6 2022年度事業計画案について
- 議案 7 2022年度予算案について
- 議案 8 2022年度定時評議員会の招集決議について

III その他

- ・事務局連絡等
- ・各委員会報告

総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレックスアカデミア

3) 常務理事会の開催状況等について

常務理事会は、会長、専務理事、常務理事が理事会に提出する議案の事前審査、事業運営に関する意見交換を行う会議であり、原則として、理事会開催月の前月に開催することとしている。令和3年度は6回の会議を招集し審議を行った。

会議名	開催日	主な審議事項	その他
第1回常務理事会	2021.4.22	日本選手権等について	WEB方式
第2回常務理事会	2021.7.13	大阪選手権等について	同上
第3回常務理事会	2021.9.9	アカデミア事業等について	書面報告
第4回常務理事会	2021.11.19	大阪国際女子マラソン等について	
第5回常務理事会	2022.1.18	大阪マラソン等について	
第6回常務理事会	2022.3.8	日本室内陸上等について	

4) 専門委員会の開催、審議状況について

- ・総務企画委員会

当委員会は、メール交換等の方法で開催し、評議員会、理事会、常務理事会の準備や法令の改正調査、規程改正案の審査等を行った。また、表彰に関する事務、議事録作成事務等を行った。

- ・競技委員会

第1回競技委員会（於：2021年8月17日、ヤンマースタジアム長居大会運営室）

- ①今年度前半競技会の総括
- ②各部の活動状況の報告

第2回競技委員会（於：2021年12月17日、ヤンマースタジアム長居大会運営室）

- ①今年度後半競技会（12月まで）の総括
- ②次年度競技会要項で変更する内容の検討（クラブ対抗、長距離記録会）
- ③各部総括及び次年度活動方針について報告

第3回競技委員会（於：2022年2月18日、ヤンマースタジアム長居大会運営室）

- ①2022年度競技日程の報告
- ②2022年度競技会要項の検討
- ③全国競技運営責任者会議報告
- ④各部から報告
- ⑤次年度の競技委員会開催について提案

⑥次年度競技会運営でのコロナ対策について提案

・強化委員会

第1回強化コーチ会議（7月17日） 国体選手選考、国体総合優勝に向けて

国体選手選考コーチ主任会議（8月15日） 国体大阪代表選手選考

国体申込書類作成会議（8月20日） 国体資格審査、申込書類作成

第2回強化コーチ会議（11月11日） 2022年度に向けた強化方針、強化策について

・広報委員会

11月30日住友ビル。広報に係る戦略的推進方策に関して、民間企業の広報部長にも参画いただき、デジタル化やSNSの伸展を踏まえた最も効果的な広報の在り方について、ご意見を伺い今後の広報活動の方向性を検証した。そのほか、会議、メール交換等の方法により、広報活動の状況、データを交換し、活動の活性化を図った。

・経営戦略会議

11月10日住友ビル会議室。中長期的な課題や計画を審議するため経営戦略会議を開催し、当会の将来課題等について議論を行った。最近の事業の多角化による要員不足問題やアスリートの地元定住、就職を促進していくための施策の必要性などのテーマに関して審議を行った。

・コンプライアンス委員会

令和2年度3月の理事会において組織化を決議し委員の任命を行ったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う非常事態宣言等の発出に伴い、会議を招集することができなかった。

・財務委員会

WEB、メールを使用し、木南記念陸上等の競技会の協賛金獲得等の財務基盤の安定化対策や予算編成、決算作成事務などを進めたほか、公益認定に伴う諸手続きに関して調整やその手続き事務を担った。

（6）組織改革

総務委員会を総務企画委員会とし国際部を設置した。また、広報活動を強化していくため広報委員会に広報戦略部、映像配信部を設置し専門的な知見を有する委員を配置した。また、試行事業として推進する大阪アスレチックスアカデミア事業の専門部署を設置し、令和4年度からの本格実施の準備組織を設置した。

<以上>